



# 浦島伝説

令和7年3月7日

第 38 号

## 卒業式 感謝と未来に向けた決意

3月になりました。卒業式がいよいよ来週に迫ってきました。卒業式は学校の中で一番大切な行事です。

3年生の卒業を祝い、良い卒業式にするためには、「祝福の気持ちと姿勢」「心をこめた歌声」「暖かい拍手」が必要です。1、2年生は、祝福の気持ちをきちんとした姿勢や歌声、拍手で表しましょう。きっとみなさんの気持ちは3年生に届くはずですよ。

3年生が卒業した後、在校生として、みなさんはどのように学校をより良くしていきますか？卒業生の姿を見て、自分たちも将来どんな卒業生になりたいかを想像し、それに向けた行動を起こしていきましょう。新しい学年を迎える準備をしっかりと整え、卒業生のように、次の世代を引っ張っていけるように努力しましょう。

3年生は、いよいよ卒業です。みなさんの成長した姿を座っている様子や礼をする所作、歌声で見せてください。家族や先生方、仲間たちに何より自分のために、全力の姿を見せてほしいです。ではなぜ、礼の仕方一つ、歌を歌う様子一つにこだわるのでしょうか。それは卒業式は儀式だからです。儀式は日常生活とは違った形で人生の節目にけじめをつけ、新たな出発する決意を示す場です。形式の美というものです。卒業式では、卒業証書を深々と礼をしてもらい、少し堅苦しい式辞や祝詞（お祝いの言葉）を聴き、そしてその度の「一同、起立、礼」をすることであったりするわけです。卒業式の主役は卒業生一人一人です。

## 人事を尽くして天命を待つ

3年生のみなさんにとって、来週は中学校生活最後の一週間となりました。そして、11日（火）、12日（水）は公立高校の入試です。来週に備えてしっかりと体調を整えておきましょう。

さて、入試を控えているみなさんに「人事を尽くして天命を待つ」という言葉を紹介します。この言葉の意味は、広辞苑によると「人間としてできるかぎりのことをして、その上は天命に任せて心を労しない。」と書かれています。やるだけのことをやったら結果は天に任せて心配せずに待とう、ということです。

高校は義務教育ではありませんから、その学校への入学に適しているか否かの判断は高校側が行います。学力面だけでなく、その人の人となりを面接によっても判断します。ですから、みなさんができることは、自分のできるだけの力をその場で出し切ることなのです。

ここで思い出してほしいのは、詫間中学校の「生徒の信条」です。中学校の正門を入ったところにある石碑に刻まれた言葉を見ながら努力を続けたみなさんは、大きく成長したことだと思います。自分の力を信じて、ベストを尽くしてください。

限りなき前進を  
おのれの力を出し切って  
みんなの力を出し合って  
日々心豊かにたくましく

